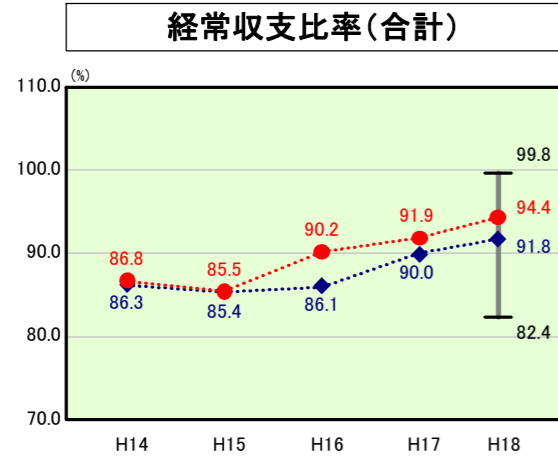


歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

広島県 大竹市

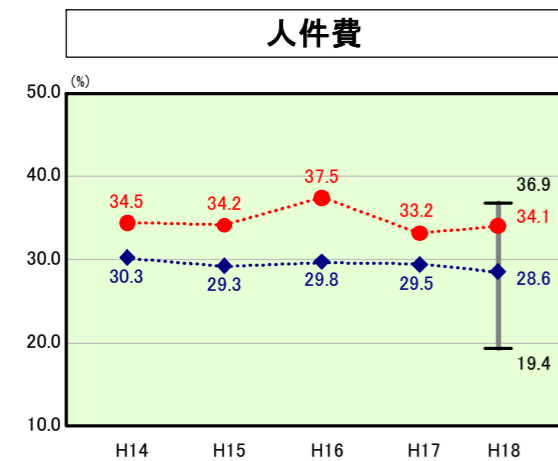
経常収支比率の分析



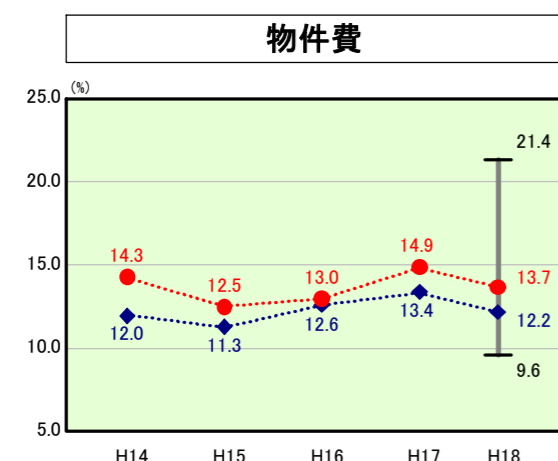
当該団体値 ●
類似団体内平均値 ◆
類似団体内最大値 T
類似団体内最小値 I

人口	29,924 人(H19.3.31現在)
面積	78.55 km ²
歳入総額	11,018,463 千円
歳出総額	10,772,388 千円
実質収支	182,672 千円

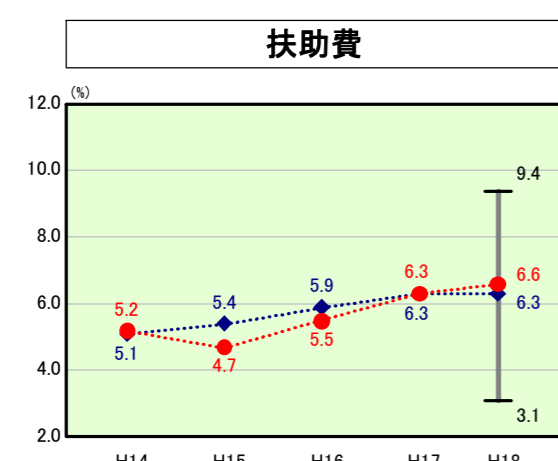
H18類似団体内順位 12/18
全国市町村平均 90.3
広島県市町村平均 93.5



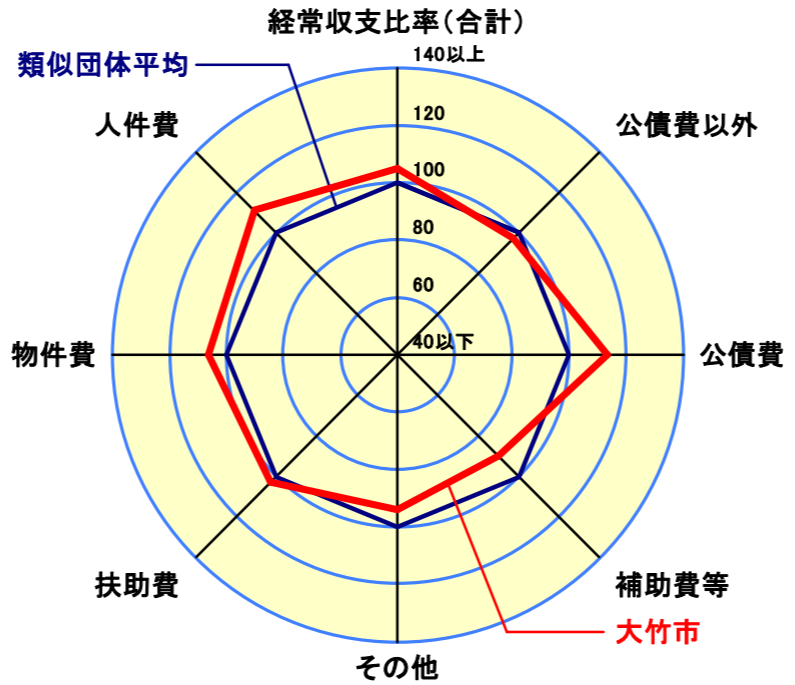
H18類似団体内順位 15/18
全国市町村平均 28.2
広島県市町村平均 28.6



H18類似団体内順位 12/18
全国市町村平均 12.9
広島県市町村平均 13.8



H18類似団体内順位 11/18
全国市町村平均 8.6
広島県市町村平均 8.6



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【経常収支比率(合計)】
公債費の増加により比率は上昇している。市税収入の増加により、歳入面では経常一般財源が増えているが、それ以上に歳出面における経常一般財源が増加しており、公債費は今後も増加する見込みであるため、行財政改革の推進により、経常経費の圧縮に努めていく。

【人件費】
類似団体平均を上回るのは、消防業務を直営で行っており、ごみ収集業務、保育所運営なども直営を中心に実施しているためであると考えられるが、退職者の不補充などにより職員数の削減に努めており、今後も継続して取り組みを進めていく。

【物件費】
電子計算機システムをホストコンピュータからクライアントサーバ方式に切り替えたことにより、電子計算機のリース料が減少したため比率が下降したが、ごみ固形燃料施設の維持管理に多額の経費がかかっており、類似団体の平均を上回っている。一般廃棄物処理基本計画・循環型社会形成推進地域計画に基づきごみ減量化に努め、経費の圧縮を図っていく。

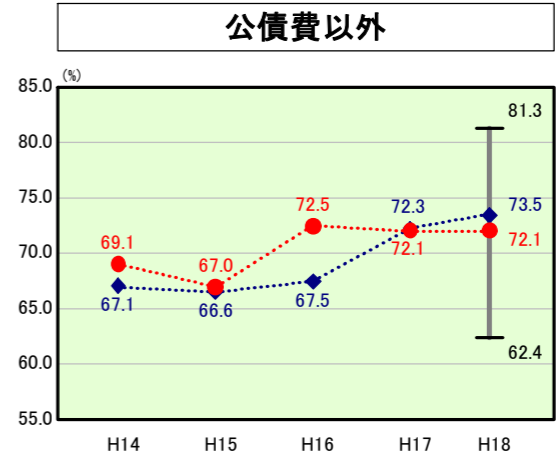
【扶助費】
高齢社会の到来、児童手当などの増加により扶助費は増加傾向にある。全国的な傾向ではあるが、高齢者の健康づくりの推進などにより抑制を図っていく。

【公債費以外】
経常収支比率の上昇のもっとも大きな要因が公債費の増加であるため、公債費以外で比べると類似団体の平均を下回っている。今後も人件費を中心に歳出削減を図っていく。

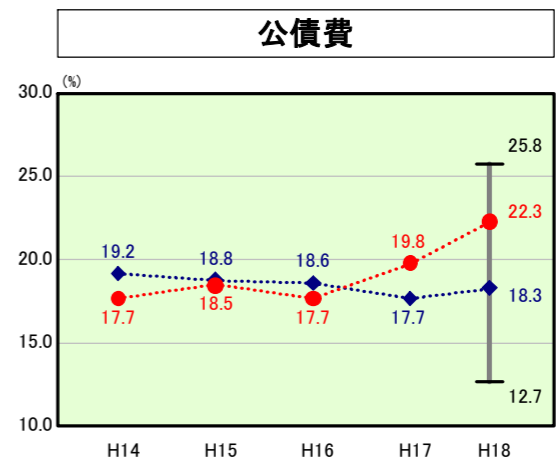
【公債費】
平成13・14年度に建設したごみ固形燃料施設の元金償還が平成18年度から始まったため、比率は大幅に上昇している。公債費は今後も増加する傾向にあるが、プライマリーバランスの黒字化に継続して取り組み、人口1人当たり地方債現在高の圧縮に努める必要がある。

【補助費等】
平成18年度に比率が大幅に上昇しているのは、公共下水道事業を公営企業会計に移行したことにより、これまでの繰出金が補助費等に切り替わったことによるものである。類似団体平均を下回るのは、消防業務などを一部事務組合ではなく、直営で行っているためであると考えられる。

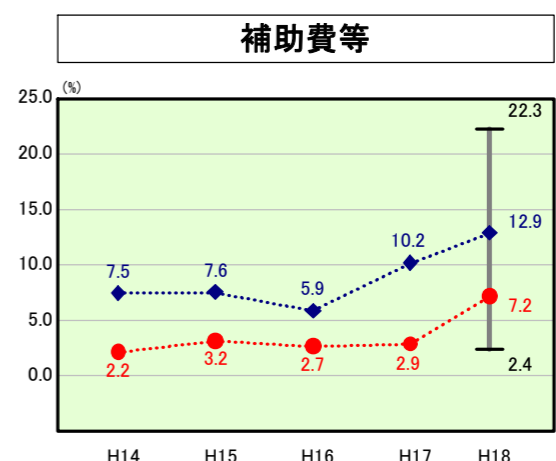
【その他】
公共下水道事業の公営企業会計への移行に伴い、これまでの繰出金が補助費等での支出となったため、比率が下降した。



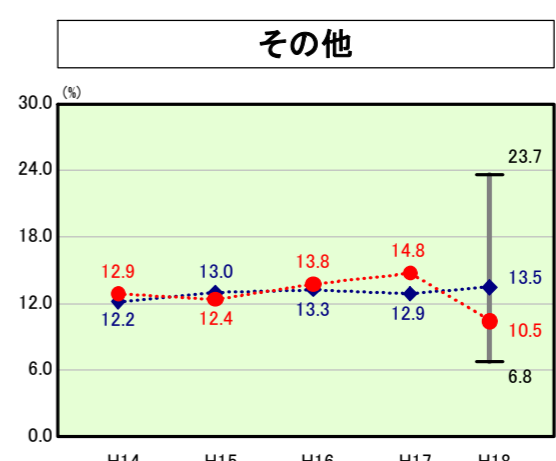
H18類似団体内順位 7/18
全国市町村平均 70.5
広島県市町村平均 70.5



H18類似団体内順位 17/18
全国市町村平均 19.8
広島県市町村平均 23.0



H18類似団体内順位 4/18
全国市町村平均 10.2
広島県市町村平均 9.4



H18類似団体内順位 6/18
全国市町村平均 10.6
広島県市町村平均 10.1